

社会福祉法人長岡東山福祉会
平成24年度 事業報告書

平成24年度社会福祉法人長岡東山福祉会重点施策及び運営方針に基づき、次の事業を実施した。

【社会福祉法人長岡東山福祉会本部事業】

1. 事業運営の成果

(1) 理事会の開催状況

開催日	出席者数	提出議案
4月1日	理事9／9名 (監事2／2名)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人長岡東山福祉会理事長の互選について ・社会福祉法人長岡東山福祉会理事長の職務代理について
5月28日	理事9／9名 (監事2／2名)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人長岡東山福祉会特別養護老人ホームかつぼ園耐震化優先度調査報告（報告） ・社会福祉法人長岡東山福祉会特別養護老人ホームかつぼ園設備等調査報告（報告） ・平成23年度社会福祉法人長岡東山福祉会一般会計の支出予算の流用について（報告） ・平成23年度社会福祉法人長岡東山福祉会事業報告及び一般会計・特別会計の決算、並びに監査報告について ・社会福祉法人長岡東山福祉会の「応研福祉大臣ネットワーク構築」に伴う入札執行等について
7月25日	理事8／9名 (監事1／2名)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人長岡東山福祉会「応研福祉大臣ネットワーク構築」の契約の締結について（報告） ・平成24年度社会福祉法人長岡東山福祉会一般会計・特別会計の第一次補正予算について ・特別養護老人ホームかつぼ園の屋上防水全面改修工事に伴う入札執行等について ・「デイサービスセンターかつぼ園」の送迎車両（リフト車両）入替えに伴う入札執行等について ・短期入所事業かつぼ園 短期入所生活介護（介護予防短期入所生活介護）運営規程の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会就業規則の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会給与規則の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会準職員給与規則の一部改正について
12月21日	理事9／9名 (監事2／2名)	<ul style="list-style-type: none"> ・特別養護老人ホームかつぼ園の「屋上防水全面改修工事」の完了について（報告） ・「デイサービスセンターかつぼ園」の送迎車両（リフト車両）の整備完了について（報告） ・2012年「24時間テレビ」35福祉車両寄贈について（報告） ・公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団平成24年度施設

		<p>整備等助成金の交付決定について（報告）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度社会福祉法人長岡東山福祉会一般会計・特別会計の第二次補正予算について ・「長岡市デイサービスセンターふそき」の送迎車両入替えに伴う入札執行等について ・社会福祉法人長岡東山福祉会就業規則の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会給与規則の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会育児休業等に関する規則の一部改正について
3月26日	理事9/9名 (監事2/2名)	<ul style="list-style-type: none"> ・「長岡市デイサービスセンターふそき」の送迎車両入替えに伴う入札結果の報告について（報告） ・「デイサービス花の里かつぼ」の事業開始について（報告） ・特別養護老人ホームかつぼ園のエレベーター老朽化に伴う改修工事について（報告） ・社会福祉法人長岡東山福祉会管理運営規則の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会公印規程の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会事務決裁規程の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会就業規則の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会準職員等就業規則の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会慶弔規程の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会給与規則の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会入所基準の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会一般会計・特別会計の第三次補正予算について ・社会福祉法人長岡東山福祉会平成25年度事業計画並びに一般会計・特別会計の当初予算について

(2) 評議員会の開催状況

開催日	出席者数	提出議案
5月28日	14/19名	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人長岡東山福祉会特別養護老人ホームかつぼ園耐震化優先度調査報告（報告） ・社会福祉法人長岡東山福祉会特別養護老人ホームかつぼ園設備等調査報告（報告） ・平成23年度社会福祉法人長岡東山福祉会一般会計の支出予算の流用について（報告） ・平成23年度社会福祉法人長岡東山福祉会事業報告及び一般会計・特別会計の決算、並びに監査報告について ・社会福祉法人長岡東山福祉会の「応研福祉大臣ネットワーク構築」に伴う入札執行等について

7月25日	14/19名	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人長岡東山福祉会「応研福祉大臣ネットワーク構築」の契約の締結について（報告） ・平成24年度社会福祉法人長岡東山福祉会一般会計・特別会計の第一次補正予算について ・特別養護老人ホームかつぼ園の屋上防水全面改修工事に伴う入札執行等について ・「デイサービスセンターかつぼ園」の送迎車両（リフト車両）入替えに伴う入札執行等について ・短期入所事業かつぼ園 短期入所生活介護（介護予防短期入所生活介護）運営規程の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会就業規則の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会給与規則の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会準職員給与規則の一部改正について
12月21日	14/19名	<ul style="list-style-type: none"> ・特別養護老人ホームかつぼ園の「屋上防水全面改修工事」の完了について（報告） ・「デイサービスセンターかつぼ園」の送迎車両（リフト車両）の整備完了について（報告） ・2012年「24時間テレビ」35福祉車両寄贈について（報告） ・公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団平成24年度施設整備等助成金の交付決定について（報告） ・平成24年度社会福祉法人長岡東山福祉会一般会計・特別会計の第二次補正予算について ・「長岡市デイサービスセンターふそき」の送迎車両入替えに伴う入札執行等について ・社会福祉法人長岡東山福祉会就業規則の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会給与規則の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会育児休業等に関する規則の一部改正について
3月26日	14/19名	<ul style="list-style-type: none"> ・「長岡市デイサービスセンターふそき」の送迎車両入替えに伴う入札結果の報告について（報告） ・「デイサービス花の里かつぼ」の事業開始について（報告） ・特別養護老人ホームかつぼ園のエレベーター老朽化に伴う改修工事について（報告） ・社会福祉法人長岡東山福祉会管理運営規則の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会公印規程の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会事務決裁規程の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会就業規則の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会準職員等就業規則の一部改正について

		<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人長岡東山福祉会慶弔規程の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会給与規則の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会入所基準の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会一般会計・特別会計の第三次補正予算について ・社会福祉法人長岡東山福祉会平成25年度事業計画並びに一般会計・特別会計の当初予算について
--	--	---

(3) 事務局・運営会議の開催状況

- ・事務局会議を毎月1回以上開催し、法人運営に係る事項について協議や報告を行い、本部体制の一層の充実強化を図った。
- ・法人本部や事業所の収支報告を実施し、本部職員が経営に関し統一した意識を持つよう取り組んだ。
- ・管理者や係長が参加する法人運営会議を毎月開催し、事務局会議での決定事項の周知を図ると共に、各事業所の利用状況や諸問題等を報告し意見交換を行った。

(4) 専門委員会

<法人本部>

①人材育成委員会

職員の資質向上を目的として研修計画を立案し、確実に法人職員全員が受講できるようフローチャートの見直しを行った。また各事業所の新人職員育成計画の評価を行い、基本事項の統一を図った。

<資料> 研修内容

開催月	定期研修	職種別研修	資格取得研修	管理職研修
4	法人の理念・事業計画 法人の規則規程			
5	個人情報とプライバシー保護 苦情処理 接遇 食中毒の予防・感染症予防に関する基礎知識（感染対策委員会主催）			
6	救急法	事務職員研修 管理栄養士研修 看護職員		
7	リスク管理（リスク管理委員会主催）	調理講習会 介護支援専門員		人事評価
8	救急法			
9	権利擁護と法令遵守	生活相談員	介護支援専門員	
10	感染時の対応（感染対策委員会主催） 安全運転講習会（ふそき拠点のみ）	介護職員		プロとしての心構え
11	かつぼ園での感染性胃腸炎発生のため研修中止			
12	介護保険制度		介護福祉士（模擬試験）	

1	認知症ケア メンタルヘルス 研修報告会			
2	リスク管理			
3	介護保険制度（かつぼ園）			

②中長期計画策定委員会

地域の市場調査として、老人会及び介護予防事業参加者・修了生を対象にアンケートを実施した。介護予防事業を通じ獲得したサービス利用待機者を、如何にして法人介護サービスの利用につなげるかが課題の一つとなった結果を受け、介護予防に関する自主事業の実施を提案した。

職員採用計画は『戦略的な採用と初期の定着促進の手引き』を活用し、法人の現状に合わせた職員採用計画を立案し、備品購入等4年次計画は各事業所の要望を集約・反映して見直しを行った。また、車両等の整備にあたっては福祉施設助成団体申請計画を作成し、助成金・補助金の活用に努めた。

③法人防災委員会

法人全職員が防災基礎知識を習得するために、マニュアルを配布し研修を実施した。

8月には法人合同の初期消火基本訓練として実放水訓練を地域住民にも参加を呼び掛け実施した。

④入所検討委員会

入所基準に基づき年6回委員会を開催し、優先順位の高い方から入所していただけるよう検討した。

グループホーム花の里かつぼについては、認知症高齢者の状況に添うように入居基準の見直しを行った。

⑤サービス向上委員会

入所者・利用者の満足向上と専門職としての資質を確保し良質なサービスを提供するために、サービス評価制度の仕組みを構築し実施した。

⑥広報委員会

7月・10月・3月と年3回の広報を発行し、各事業所の紹介や行事のお知らせ等を掲載し、施設からの情報発信を行った。ホームページについては掲載内容の見直しを図ったが、定期的な更新ができなかった。

⑦納涼祭実行委員会

法人25周年記念を踏まえ、納涼祭のステージで長年支援いただいたボランティアに対して表彰ができ、また入所者及び家族や地域の方々と25周年を祝うことができた。来園者も多く屋台等も大盛況であったため準備が追い付かず、職員配置や品数等の見込みに課題が残った。

<拠点内委員会>

① リスク管理委員会

事故を未然に防ぐため、ケアの質の向上につなげる貴重な教訓としてリスクマネジメントの仕組み作りを行い、前半の研修で基本に戻りその必要性を理解してもらった。また、それを活

かし後半は、各職種合同で事例検討を行う事で必要性・留意点・活用の理解ができた。

②食事サービス委員会

食事や栄養に関するチラシ(年3回)を作成し掲示等を行い、利用者に食事サービスに関する啓蒙活動を行った。また食材料費の管理に取り組み、ほぼ予算通り執行された。

③防災委員会

各拠点で火災や地震等を想定した避難訓練を実施し、地域住民、地元消防団及び家族協力会役員に参加を依頼した。また消防署職員に立ち会いを求め、訓練内容について意見や評価をいただき、次の訓練にいかした。防災委員会を毎月開催し、職員の防災に対する意識づけを図ると共に安全管理を行った。

④感染対策委員会

各拠点で、食中毒や感染症発生時の対応についての研修会を開催した。また職員や外来者に対し、感染症予防のポスターを掲示するなど啓蒙活動を実施した。特養かつぼ園にて11月に感染性胃腸炎が集団発生した際は、委員会を頻繁に開催し対応した。改めて予防やまん延対策を見直し、職員に周知徹底を図った。

⑤労働衛生管理委員会

職員の定期健康診断を年2回実施し、有所見者に対しては産業医及び保健師(協会けんぽ)の指導を行い、婦人科健診は希望者全員に実施した。また感染症予防対応策としてインフルエンザの予防接種及びHBワクチン接種を実施した。

⑥身体拘束廃止委員会

職員全員が身体拘束廃止に向けた意識を持つことを目的に指針の熟知と言葉による拘束について学習会を実施した。それにより、日常業務の中での身体拘束に気付くようになり意識付けができた。

⑦園芸委員会

各拠点の花壇整備に関して計画し、職員全員で取り組んだ。また花壇イベント等を企画し地域住民やボランティアと交流を図った。

⑧痰の吸引等安全対策委員会

医師の指示のもと看護職員を中心に各職種が連携し、安全に痰の吸引が実施されるよう随時実施状況の確認を行なった。

(5) 職員の動向

産休・育児休業取得者が19名となり、補充として介護職員の採用が多くなった。あわせて看護職員等の専門職が退職した後、その後の確保が難しく魅力ある職場のPRに課題が残った。

資格については、介護福祉士取得率が大幅にあがった。

①採用者・退職者数 単位：人(実数)

	採用者数	退職者数
24年度	27	18
23年度	9	14

②資格保有状況 (25. 3. 31 現在)

単位：人 (実数)

区分	かつぼ園	福祉センターふそき	ケアセンター花の里	合計
総職員数	102	40	47	189
介護福祉士	55	20	26	101
社会福祉士	3	3	2	8
看護師	4	0	1	5
准看護師	3	3	2	8
管理栄養士	1	0	1	2
介護支援専門員	15	11	5	31

(6) 地域連携等に関すること

①花華クラブ

- ・ 11月に予定されていた活動が特養かつぼ園の胃腸炎発生により1回中止となり、年間23回の活動だった。
- ・ 今年度の活動日は比較的天候に恵まれ、施設内のガーデン管理は予定通り実施できた。
- ・ 研修旅行は長野県柵池高原に行き体調不良者もなく珍しい野草等の観察ができた。

月	実施回数		延べ参加人数		24年度の内容
	24年度	23年度	24年度	23年度	
4	2	2	13	20	お花の砂糖がけ・春の種まき
5	2	2	19	20	アイの種まき&田植え・ガーデン管理
6	2	2	19	18	薬草木酢液作り・さし芽の仕方&ガーデン管理
7	2	2	23	20	梅雨時のガーデン管理・研修旅行(柵池自然公園)
8	2	2	23	12	藍染め・種まき(ルピナス)
9	2	2	19	16	ガーデン管理・秋まき種まき
10	2	2	18	26	球根の植え付け・こけ玉作り&ガーデン管理
11	1	2	11	17	くずのツルでかご編み
12	2	2	25	22	花華カレンダー作り・ドア飾りと忘年会
1	2	2	24	17	まゆ玉飾りと吊るし飾り
2	2	2	25	20	折り紙の吊るし飾りの組み上げ・バスボム
3	2	2	26	22	フラワーアレンジ・春の鉢物
合計	23	24	245	230	

②レインボー体操

- ・ 実施回数は昨年度と同回数実施したが参加人数が減少した。PRを強化することに併せて、実施内容の確認と見直しを図ることが課題となった。
- ・ 高齢者センターふそき
冬期間(11月～3月)に軽運動ホールが地域高齢者のゲートボール場として専用になることに伴い、当体操の実施曜日と場所を変更したことが要因となって参加数が減少した。教室運営については、数人のインストラクターが交替で担当することからそれぞれの個性を活かした指導ができ、且つ新規参加者も得ることができた。
- ・ 近隣老人会等
デイサービスセンターふそきの自主事業に一部を移行した団体については減少したが、

全体数では増加した。今年度新規で出向した団体もあり、近隣地域の介護予防に貢献できた。

(ケアセンター花の里かつぼ)

月	実施回数		延べ参加人数		月	実施回数		延べ参加人数	
	24年度	23年度	24年度	23年度		24年度	23年度	24年度	23年度
4	2	2	16	15	10	2	2	12	13
5	2	2	14	8	11	2	2	12	15
6	2	2	11	15	12	2	2	11	16
7	2	2	12	11	1	1	2	7	16
8	1	2	5	13	2	2	0	12	0
9	2	2	12	15	3	2	2	11	13
合計						22	22	135	150

(高齢者センターふそき)

月	実施回数		延べ参加人数		月	実施回数		延べ参加人数	
	24年度	23年度	24年度	23年度		24年度	23年度	24年度	23年度
4	4	5	84	74	10	4	4	84	74
5	4	4	83	61	11	5	4	60	71
6	5	4	99	65	12	4	5	28	80
7	4	5	81	79	1	3	4	36	68
8	5	4	75	62	2	4	4	45	45
9	4	4	92	70	3	5	5	62	96
合計						51	52	829	845

(近隣地域老人会等)

団体名	実施回数		延べ参加人数	
	24年度	23年度	24年度	23年度
友美会 (美園老人会)	12	12	349	367
川崎コミュニティセンター (地域の茶の間)	3	2	51	28
さくら会 (シルバーハウジング千歳)	12	9	144	106
新保福祉部会 3丁目・5・6丁目 (新保ふれあい会館)	1	4	23	48
新組コミュニティセンター	1	0	25	0
合計	29	27	592	549

③花壇イベント

大勢の方から参加いただき、地域との交流や親睦を深め実施することができた。また、参加者から「実施回数を重ねるごとに地域の行事として定着してきて楽しみである。」との意見も頂き職員の励みにもなった。

単位：人（延べ数）

	回数	参加人数
24年度	2	144
23年度	2	147

（7）その他

①役員研修の実施

例年実施している先進施設への視察を見合わせ、今後の法人の防災体制の強化を図るため東日本大震災の被災地である松島町の現況を視察した。地震発生時の対応やその後の福祉・医療・保健分野の連携について行政職員からご講義いただき参考となる研修だった。

②地域向け研修会（東山かいらく教室）の開催

地域住民を対象とした第4回東山かいらく教室を開催し31名の方より参加いただき、次々詐欺や介護技術、腰痛対策等の研修を行い地域に貢献することができた。参加者からは継続開催の声が多く聞かれた。

2. 経営管理

職員教育・人材確保と備品入替え等老朽化対策・サービス評価を法人委員会が中心となって検討し本部事務局会議に提案・審議することで、スムーズな問題の解決と課題の共有化が図れた。

経営的には特別養護老人ホームかつぼ園では、今年度特に入退所が多く4割の方が入れ替わる状況となり、稼働率の低下が顕著であった。これは、重介護を伴う入所待機状況となっていることや、多床室という従来型（低料金）を選択しなければならぬ利用者の生活状況が要因となっている。

今後も、重介護で生活保護世帯を含む低所得者の方や、虐待ケースで措置対応となる方の受け入れ場所となることが当園の特徴となっていくと思われる。

短期入所事業及び通所介護事業については、特養においてノロウイルス感染の発生により利用中止の期間があり、自粛体制による稼働率低下が見られた。

特別養護老人ホーム花の里かつぼでは平均介護度の上昇による増収が見られており、重介護傾向となっている。

デイサービスセンターふそきでは、債券償還による資金収入が稼働率低下による減収を補う要因の一つとなった。

【拠点・特別養護老人ホームかつぼ園】

1. 事業運営の成果

（1）事務課

- ・収支報告と分析内容を拠点の管理者、係長と共有することで、適正な予算管理及び予算執行ができた。
- ・課員の業務分担を見直し、平準化を図ったことで時間外勤務を減らすことができた。
- ・施設管理となっている入所者預り金について、その金額や施設管理となっている事情等を再度確認し、家族での管理が可能な方への引き渡しを行った。

入所者預り金施設管理件数

平成24年4月現在	47件
平成25年3月現在	23件

(2) 施設サービス課

① 1・2係

- ・施設サービス計画書を作成するにあたり、家族と新規入所時及び面会時に情報交換を行うことで、利用者のニーズに沿った計画書が立案できた。またそれを基に他職種と連携し、その人らしい生活の支援ができた。
- ・終末期対応となった利用者について、終末期の介護計画を作成し各職種が連携してケアを行った。少しでも多くの時間を家族と過ごして頂けるよう、状態に変化のあった時は早めに連絡を行った。
- ・利用者が安心して生活できるよう、グループ職員や居室担当が中心となり、不安や要望に対して迅速に対応することで質の高いサービス提供に努めた。
- ・利用者の状態に合った余暇活動を計画し実施すると共に、外部からのボランティアを受け入れることで充実した活動の場を提供することができた。
- ・家族に対し面会時や電話にて、グループ職員や居室担当が中心となり情報提供を行なうことで信頼関係を構築できた。
- ・冬期間、ノロウイルスの感染拡大があり保健所の調査、指導を受けながら事態の収束に向けて取り組んだ。感染対策について研修を実施していたが活かすことができなかった。インフルエンザの発症もみられたが、医師の指示を受けながら拡大防止に努め、発症者は少数にとどまった。

② 医務係

- ・利用者のその時々状態に合った適切なケアが行えるよう、終末期への移行も含め早めの受診や回診で医師の指示を受けて対応した。施設ケアマネジャーや生活相談員と連携し、家族へも看取りや体調の変化について分かりやすく説明を行うことができた。
- ・ノロウイルス、インフルエンザ発生時は各職種と連携し感染拡大の防止に努めた。

③ 給食係

- ・栄養士と調理員が連携し、利用者のニーズにあった献立作成を行った。
- ・調理の研修や係内での研究会を通し、個々の技術を向上させることができた。
- ・事業所ごとに食費単価管理ができた。
- ・食品の衛生管理に十分に配慮して、安全な食事の提供ができた。
- ・食事に関しての情報を提供するとともに、利用者が楽しめる選択食やスイーツバイキング等の食事に関する行事を実施した。

資料1 <入所者の状況>

① 入退所状況

単位：人（実数）

状況	入所前の状況					合計
	在宅	長期間 ショート	老健等 他施設	病院	法人グルー プホーム	
24年度	9	9	14	8	2	42
23年度	6	9	3	4	1	23

退所の状況					
状 況	在 宅	施設で死亡 ※1 ()	協力病院 入院中死亡	他施設等 へ退所	合 計
24年度	0	36 (26)	5	1	42
23年度	0	21 (9)	2	0	23

※1 () ターミナルケア計画に基づき、施設内で看取りを実施した数

②年度末介護度別数

単位：人（実数）

年度	介護度	要介護度1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5	合 計
	24年度		3	7	18	33	39
23年度		2	13	16	27	42	100

③月別利用数

単位：人（延べ数）

24年度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率
	人数	2,993	3,085	2,970	3,078	3,098	2,929		
23年度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率
	人数	3,041	3,104	2,973	3,084	3,070	2,980		
人数	3,026	2,946	2,993	3,048	2,718	3,069			
人数	3,091	2,992	3,081	3,085	2,860	3,076			

④介護度別利用数

単位：人（延べ数）

24年度	介護度	1	2	3	4	5	合計	平均介護度
	人数	792	3,692	5,988	11,129	14,352		
23年度	介護度	1	2	3	4	5	合計	平均介護度
	人数	876	4,239	6,703	8,244	16,375		

⑤日常生活動作

単位：人（実数）

生活動作尺度	区 分	24年度	23年度
移 動	独歩	2	3
	介助・介助具使用	8	5
	車椅子	90	92
食 事	自立	41	42
	見守り	15	7
	一部介助	17	22
	全介助	18	16
	経管栄養	9	13
排 泄 (日 中)	トイレ 自立	7	2
	一部介助	18	14
	全介助	7	16
	ポータブルトイレ 自立	0	5
	一部介助	10	5

	全介助	7	9
	オムツ	48	40
	フォーレ	3	9
入浴	一般浴	26	30
	座浴	24	25
	特浴	50	45

⑥食事形態 (平成 25 年 3 月 31 日現在) 単位：食 (実数)

主食		副食	
米飯	21	普通	24
おにぎり	10	刻み	21
粥	54	超刻み	24
パン	6	ミキサー	22
流動食	9	流動食	9

資料 3 <余暇活動等>

①余暇活動の実績 単位：人

月	余暇活動内容	参加人数
4	ふれあいタイム	21
	花見ドライブ	6
5	散歩	8
	おはぎ作り	14
6	ゲーム (軽体操)・七夕飾り作り	40
	外出ドライブ	3
	すこやかともしびまつり作品作り	4
	デザートバイキング	90
7	すこやかともしびまつり作品作り	19
	映学会	14
	七夕飾りつけ・ふれあいタイム	25
8	盆供養会	30
	浦瀬花火見学	6
	すいか割り大会	20
	貼り絵作り・散歩	32
9	敬老会	45
	すこやかともしびまつり外出見学	4
10	外出ドライブ	3
11	映学会	30
12	クリスマス会ツリー飾り	14
	クリスマス会・写真撮影	100
1	新年会	52
	絵馬づくり	34
	映学会	31
2	節分	中止

3	おはぎ作り	7
	春を迎える会	20
	彼岸供養会	30
	映写会・ふれあいタイム	57
合計		759

②クラブ活動の実績

クラブ名	実施回数	延べ参加人数
調理クラブ	4	51
書道クラブ	6	32
歌謡クラブ	20	502
生け花クラブ	10	105
合計	40	690

③特養花華クラブ参加状況（家族協力会協賛）

単位：人（延べ数）

月	実施回数	参加人数		内 容
		入所者	家族	
4	1	12	4	春の種まき
5	1	11	4	コスモスの種まき
6	1	12	10	百日草のプランター作り
7	1	13	6	風鈴短冊作り
9	1	9	7	菜の花の種まき
10	1	12	6	ビオラのプランター作り
12	1	11	0	カレンダー絵柄作成
2	1	12	5	フラワーアレンジ
3	1	12	3	春の鉢植え
合計	9回	104	45	(8・11・1月は実施なし)

(3) 短期入所事業かつぼ園

- ・短期入所サービス計画立案時には、利用者・家族のニーズに対応するよう努めた。また、個人マニュアルの見直しを行い統一したサービス提供に努めた。
- ・季節を感じられるアクティビティや行事及び個人プランに沿ったりハビリを提供することができた。
- ・感染症発生時には速やかに対応し、感染拡大を防ぐことができた。
- ・家族や介護支援専門員等の関係機関と連携を図り、ターミナル対応の利用者を随時受け入れることができた。

資料<利用者の状況>

①市別利用数

単位：人・日（延べ数）

年度	長岡市		見附市		合 計	
	人数	日数	人数	日数	人数	日数
24年度	701	7,560	12	73	713	7,633
23年度	897	7,965	10	30	907	7,995

②月別利用数（ ）内は予防短期入所生活介護利用数を再掲

単位：人（延べ数）

24年度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率	
	人数	618 (0)	621 (3)	617 (0)	640 (4)	658 (7)	643 (10)	7,633 (85)		104.6%
月	10	11	12	1	2	3				
人数	701 (18)	576 (14)	600 (10)	626 (5)	591 (5)	742 (9)				
23年度	月	4	5	6	7	8	9		合計	
	人数	685 (16)	699 (10)	653 (25)	700 (27)	709 (23)	645 (18)	7,995 (164)	109.5%	
	月	10	11	12	1	2	3			
	人数	629 (0)	630 (23)	664 (20)	655 (2)	660 (0)	666 (0)			

③介護度別利用数

単位：人（延べ数）

24年度	介護度	要支援	1	2	3	4	5	合計	平均介護度
	人数	85	926	826	1,128	2,101	2,567	7,633	3.6
23年度	介護度	要支援	1	2	3	4	5	合計	平均介護度
	人数	164	766	631	1,399	2,404	2,631	7,995	3.4

(4) デイサービスセンターかつぼ園

- ・利用者・家族との情報共有に努め、心身状態をより細かく把握することにより、通所介護計画に反映し、より個別的な援助ができた。また、一人ひとりに合った個別機能訓練の計画立案と実施を行う事で、利用者の張り合いとなった。
- ・居宅介護支援事業所を月に一回訪問し実績報告を行った。その際に広報誌やアクティビティ予定表、利用空き情報等を持参しPRすることで新規利用者の確保ができた。
- ・レインボー体操のインストラクターより指導を受け、日々実施しているレインボー体操の質を向上させることができた。また、レインボー体操を実施している事業所として居宅介護支援事業所に印象付けができてきている。

資料<利用者の状況>

①登録者数

単位：人（実数）

区分 年度	長岡市	見附市	合計
24年度	81	14	95
23年度	90	9	99

②利用者数

単位：人（延べ数）

区分 年度	長岡市	見附市	合計	稼働日数	1日あたり 平均人数
24年度	7,535	656	8,191	364	22.5
23年度	7,838	640	8,478	365	23.2

③月別利用数 ()内は予防通所介護利用数を再掲 単位：人(延べ数)

24 年度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率
	人数	700 (64)	739 (73)	698 (76)	731 (70)	704 (83)	684 (79)		
月	10	11	12	1	2	3			
人数	720 (93)	660 (94)	671 (99)	610 (107)	573 (102)	701 (94)			
23 年度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率
	人数	673 (104)	671 (114)	686 (123)	683 (112)	749 (96)	744 (98)	8,478 (1,265)	92.9%
	月	10	11	12	1	2	3		
	人数	761 (116)	723 (103)	751 (103)	683 (101)	637 (100)	717 (95)		

④介護度別利用者数 単位：人(延べ数)

24 年度	介護度	要支援	1	2	3	4	5	合計	平均 介護度
	人数	1,034	2,602	1,741	1,243	664	907		
23 年度	介護度	要支援	1	2	3	4	5	合計	平均 介護度
	人数	1,265	2,625	1,441	1,231	1,014	902		

⑤行事計画 単位：人(延べ数)

月	行事計画	参加人数
4	お花見ドライブ(寿、藤沢)	48
5	ドライブ(ハイブ長岡)	46
8	納涼祭	4
9	すこやかともしびまつり	2
	敬老会	68
10	ドライブ(アオーレ長岡)	50
11	ドライブ(秋葉公園)	49
12	クリスマス会	86
1	もちつき大会	64
2	節分	66
3	ひな祭り会	92
合計		575

(5) ホームヘルプサービス事業かつぼ園

- ・その人らしい生活を送ることができるよう、一人ひとりのニーズに即した訪問介護計画書を作成し、その計画書を常に確認しながら標準的なサービス提供ができた。
- ・日曜日営業は、訪問延べ数 141 回あり、前年度より 131 回増加した。
- ・利用者の立場に立った、サービス提供ができるよう家族、居宅介護事業所、地域包括支援センターと連携を図った。また、必要に応じ長岡市介護保険課にも情報提供をした。
- ・年間研修計画に沿い、毎月の事業所内研修と個人研修を実施し、特に介護技術面においてはより高い質の向上を図りサービス提供に反映した。

資料<利用者の状況>

①月別利用数 () 内は予防訪問介護数を再掲 単位：人(延べ数)

24 年度	月	4	5	6	7	8	9	合計
	人数	279 (16)	320 (20)	293 (14)	370 (16)	370 (15)	362 (16)	3,803 (208)
	月	10	11	12	1	2	3	
	人数	346 (18)	297 (19)	295 (16)	292 (20)	284 (20)	295 (18)	
23 年度	月	4	5	6	7	8	9	
	人数	321 (9)	329 (11)	327 (12)	292 (10)	320 (10)	301 (14)	3,571 (189)
	月	10	11	12	1	2	3	
	人数	290 (17)	275 (14)	280 (23)	254 (19)	271 (24)	311 (26)	

② 介護度別利用数 単位：人(延べ数)

24 年度	介護度	要支援 1	要支援 2	1	2	3	4	5	合計	平均 介護度
	人数	129	79	601	1,012	747	1,081	154	3,803	2.6
23 年度	介護度	要支援 1	要支援 2	1	2	3	4	5	合計	平均 介護度
	人数	163	26	476	863	1,011	664	368	3,571	2.6

(6) 在宅介護支援センターかつぼ園

- ・利用者、家族の意向を十分に反映させるため、アセスメントツールを新たに作成し、居宅サービス計画書作成が効果的に行うことができた。また関連機関と共にチームアプローチをすることができた。
- ・介護保険外サービスの情報提供を行い、受診時の地域の送迎サービスや配食サービスの利用に活かすことができた。
- ・虐待ケースについて地域包括支援センター、長岡市、各関係事業所と連携し早期に対応ができた。
- ・法人内合同研修、介護サービス事業者研修、県主催研修等に参加し知識を深め業務に活かすことができた。

資料<利用者の状況>

①居宅サービス計画作成数 ()内は予防支援数を再掲 単位：件(延べ数)

24 年度	月	4	5	6	7	8	9	合計
	件数	159 (4)	157 (2)	157 (3)	157 (3)	146 (4)	153 (5)	1,820 (66)
	月	10	11	12	1	2	3	
	件数	158 (6)	150 (7)	150 (8)	143 (7)	146 (9)	144 (8)	
23 年度	月	4	5	6	7	8	9	
	件数	148 (3)	149 (5)	150 (4)	155 (4)	163 (3)	162 (3)	1,891 (42)
	月	10	11	12	1	2	3	
	件数	166 (4)	163 (3)	155 (0)	162 (5)	158 (4)	160 (4)	

②訪問調査件数

24年度 215件	23年度 157件
-----------	-----------

2. ボランティア・実習生等の受け入れ

(ボランティアの受け入れ)

区 分			24年度	23年度
かつぼ園	定期	個人ボランティア	22	36
		団体(グループ)ボランティア	353	533
	随時	個人ボランティア	12	11
		団体(グループ)ボランティア	82	113
		保育園・学校等	144	224
	合計			613

(実習生の受け入れ)

受入事業所	区 分	実人員	延べ日数
特養かつぼ園	北陸学園 (介護福祉士)	6	142
	北里大学保健衛生専門学院 (管理栄養士)	1	10
	高崎健康福祉大学 (管理栄養士)	1	10
	悠久山栄養調理専門学校 (栄養士)	2	10
	三幸福祉カレッジ (ヘルパー2級)	5	13
	補導委託	2	4
ホームヘルプサービス事業かつぼ園	三幸福祉カレッジ (ヘルパー2級)	3	4

デイサービスセンターかつば園	新潟県社会福祉協議会 (福祉職場体験)	1	2
	北陸学園 (教員免許に係る介護等体験実習)	1	5
	北陸学園 (介護福祉士)	5	5
	日本医療福祉専門学校 (社会福祉士)	2	48
	新潟青陵大学 (社会福祉士)	1	24
	三幸福祉カレッジ (ヘルパー2級)	6	10
合 計		36名	287日

3. 苦情（意見）内容

特養かつば園	内容	<p>申出人 入所者家族</p> <p>入れ歯が見当たらず病院で確認すると入れ歯を飲み込んでいた。しかし飲み込んでしまった物は昔つくったもので、最近作りなおした物ではなかった。何故最近作った入れ歯ではなく昔の物が入っていたのか。またこの件で面会時に職員同士で不適切な会話を耳にした。通常飲み込めない物を飲んで苦しんだ本人や心配している家族に対して失礼な発言で憤りを感じた。</p>
	想定原因と処理	<p>昔の記録に詳細が記載されておらず、入れ歯に関する対応や経過が不明であり、きちんと引き継ぎ等もされていなかった。また、不適切な言葉は複数の職員の何気ない会話の中から出たと思われた。</p> <p>申出人宅へ管理者が伺い謝罪した。他にも様々なご意見をいただいた。</p>
	改善策（結果）	<p>定期的に全入所者の荷物整理や確認を実施することとした。記録については、意識的に記録を残すように職員全員に周知を図った。また、接遇面について、拠点全職員が接遇について振り返りを行い、あいさつ運動に取り組んだ。</p>
特養かつば園	内容	<p>申出人 匿名（ご意見メモにて）</p> <p>エアコンの設定温度が低すぎて、室内にじっとしていると寒い。お年寄りには寒いのではないのでしょうか。</p>
	想定原因と処理	<p>居住棟の空調設備は部屋ごとの温度調整が難しいため、一部の部屋の温度が低くなってしまいう傾向があった。特に自ら体温調節を保つことができない入所者の部屋周辺は体温があがらないよう室内の温度を低く設定していた。</p>
	改善策（結果）	<p>温度設定を明確にし、部屋毎の温度チェック表を作成し確認作業を実施した。また換気を頻繁に行い空気の循環を図るように徹底した。改善策については園内に掲示した。</p>

特養かつぼ園	内容	申出人：入所者家族 面会時本人の身内の葬儀のため送迎を依頼した。その際は快く職員から了解をもらったが、当日別の職員からできないと言われた。対応が統一されていないのは会社組織として問題があるのではないかと。
	想定原因と処理	園送迎の考え方について、マニュアルの作成がなかったため対応がまちまちであった。 申出人に謝罪し送迎を行った。
	改善策(結果)	個人余暇や外出等について、再度相談員、介護職員が統一した対応ができるように検討しマニュアルを作成。職員全員に周知した。
デイサービスセンターかつぼ園	内容	申出人 利用者家族 迎えの時間がいつもよりも遅く、知り合いとの待ち合わせに遅れた。
	想定原因と処理	迎えの時間が遅くなる時は、前日に電話で迎え時間を伝えることになっていたがそれを怠っていた。(電話をしていれば、ご家族の予定に合わせて配車の調整ができた。) 管理者より謝罪し、迎え時間の電話連絡について再確認し納得いただいた。
	改善策(結果)	迎え時間が遅くなる時は必ず前日に電話を入れる事を相談員に再周知し、徹底することとした。

【福祉センターふそき】

1. 事業運営の成果

(1) 長岡市デイサービスセンターふそき

- ・利用者の状態を基に介護計画を作成し、家族の同意を得たうえで計画に沿って日々のケアを実施した。
- ・居宅介護支援事業所を月に一回訪問し、実績報告と利用者の状況報告及びかわら版やアクティビティ予定表、利用空き情報等を持参しPRを行った。
- ・レインボー健康体操を毎日実施したが、予定していた職員の配置ができず効果をみるための測定をすることができなかった。測定までの仕組み作りが課題として残った。
- ・個々の要望に応じて実施した脳トレーニングのプリント（計算、漢字、間違い探し、塗り絵等）は、入浴時間までの活動として定着した。
- ・自主事業の一環として、地域老人会等の要望に応え講師を派遣した。体操やレクリエーションなど、派遣先に合わせた内容の実施により、会の活性化と健康維持増進に貢献した。

①登録者数

単位：人（実数）

区分 年度	長岡市		合計
	一般型	認知症型	
24年度	123	41	164
23年度	130	47	177

②利用者数

単位：人（延べ数）

区分 年度	長岡市		合計	稼働日数	1日あたり 平均人数
	一般型	認知症型			
24年度	9,718	3,495	13,213	365	36.2
23年度	9,945	3,757	13,702	366	37.4

③月別利用数 ()内は予防通所介護利用数を再掲

単位：人(延べ数)

24 年度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率
	一般型	813 (121)	845 (114)	810 (106)	869 (144)	840 (139)	819 (135)		
認知症型	318	322	313	300	303	288			
月	10	11	12	1	2	3			
一般型	817 (144)	778 (153)	779 (169)	755 (162)	761 (158)	832 (173)			
認知症型	289	294	305	251	248	264			
23 年度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率
一般型	815 (149)	848 (151)	843 (148)	840 (148)	843 (142)	835 (138)	13,702 (1,741)	89.1%	
認知症型	288	286	307	310	325	306 (5)			
月	10	11	12	1	2	3			
一般型	843 (130)	833 (145)	826 (147)	804 (145)	770 (135)	845 (132)			
認知症型	322 (4)	303 (2)	303 (5)	324 (6)	330 (4)	353 (5)			

④介護度別利用数

単位：人(延べ数)

24 年度	介護度	要支援 1	要支援 2	1	2	3	4	5	合計	平均 介護度
	一般型	425	1,293	3,365	1,622	1,434	644	935		
認知症型	0	0	770	1,282	899	324	220			
23 年度	介護度	要支援 1	要支援 2	1	2	3	4	5	合計	平均 介護度
	一般型	347	1,360	3,413	1,565	1,934	702	624	13,702	2.5
	認知症型	34	0	630	1,408	850	357	478		

⑤行事等の状況

月	行事内容	参加人数
4	お花見ドライブ	73
5	菖蒲湯	90

6	外出ドライブ	7
7	ふそき夏まつり	112
9	長寿を祝う会 すこやかともしびまつり	117 4
10	買い物ドライブ	8
11	買い物ドライブ	4
12	クリスマス会 ゆず湯	100 107
1	新年会	75
2	節分	74
3	春を迎える会	35
合計		806 人

(2) 長岡市地域型介護予防デイサービス「ふそき元気塾」(長岡市委託事業)

- ・「運動機能向上プログラム」「口腔機能向上プログラム」「物忘れ予防プログラム」に沿って事業を実施した。仲間作りや閉じこもりを予防することができ、生きがいある生活の支援ができた。

資料<利用者の状況>

①月別利用者数

単位：人(延べ数)

年度	月	4	5	6	7	8	9	合計
	24 年度	人数	140	140	156	156	126	124
月		10	11	12	1	2	3	
人数		144	137	140	144	144	143	
月		4	5	6	7	8	9	
23 年度	人数	55	65	72	65	74	67	794
	月	10	11	12	1	2	3	
	人数	66	80	69	60	69	52	
	月	4	5	6	7	8	9	

(3) 介護プランセンターふそき

- ・利用者の状態を的確に把握しサービス計画作成に反映させるため、在宅サービス利用時に訪問し、関係機関と共にモニタリングを実施した。(年間 158 回)
- ・医療との連携に努め、入退院時に病院を訪問し利用者の状態を把握した。
(医療関係加算年間 30 件)
- ・毎週 1 回の定期学習会(年間 48 回)を実施し、居宅サービス計画作成の基本を学習した。
- ・地域住民対象の講演会にスタッフとして参加し、介護保険情報の普及に貢献した。
(年間 2 回)

資料＜利用者の状況＞

①居宅サービス計画作成数 ()内は予防支援数を再掲 単位：件（延べ数）

24 年度	月	4	5	6	7	8	9	合計
	件数	141 (2)	136 (2)	135 (3)	135 (3)	135 (3)	136 (3)	1,609 (52)
	月	10	11	12	1	2	3	
	件数	138 (4)	130 (5)	131 (4)	127 (4)	128 (9)	137 (10)	
23 年度	月	4	5	6	7	8	9	
	件数	143 (4)	134 (3)	138 (3)	139 (2)	141 (2)	142 (3)	1,675 (28)
	月	10	11	12	1	2	3	
	件数	136 (1)	142 (2)	140 (2)	138 (2)	139 (2)	143 (2)	

②訪問調査件数

24年度 214件	23年度 163件
-----------	-----------

（４）長岡市地域包括支援センターふそき（長岡市委託事業）

- ・関係機関との連携と、地域の単身世帯・高齢者世帯を中心に戸別訪問し、心身の状況及びその家族等の状況等の実態を把握するとともに、介護ニーズ等を調査し台帳整備を行った。（台帳整備数 1,524 件）
- ・一日当たりの相談件数は、包括的支援業務 7 名・介護予防支援業務 6 名だった。
- ・地域を包括的に支援する職員としての資質を高めるため、積極的に研修に参加した。（研修数 76 回・参加述べ人数 312 名）
- ・地域の福祉関係機関との連携は述べ 181 回で、会議等の参加や助言などを行った。

資料＜利用者の状況＞

①相談業務の状況

・相談人数

単位：件

年度	電話	来所	訪問	その他	合計	実態把握 年間実件数
24年度	517	302	1,770	23	2,612	1,361
23年度	550	282	2,292	35	3,159	1,226

・相談経路

単位：件

年度	本人	継続	家族	民生委員	福祉機関	医療機関	地域機関	現況調査	行政機関	その他	合計
24年度	230	575	229	17	34	30	17	489	33	23	1,677
23年度	278	672	157	12	17	20	8	290	20	7	1,481

相談内容		件数		
		24年度	23年度	
介護保険	認定関係	194	210	
	サービスの紹介	61	64	
	その他	150	217	
小 計		405	491	
介護保険外	介護方法や介護の悩み	122	981	
	医療・疾病関係	26	18	
	高齢者の介護予防	507	118	
	配食サービス	1	1	
	外出支援サービス	1	3	
	生活支援サービス	15	8	
	福祉機器	8	4	
	住宅の増改築	8	11	
	その他サービスの取次ぎ	22	11	
	虐待防止	25	25	
	権利擁護・成年後見	17	1	
	認知症・物忘れ	38	49	
	その他	754	35	
小 計		1,544	1,265	
ケアマネ支援	ケアマネジメント	アセスメント	0	0
		ケアプラン	0	0
		サービス調整	0	1
		モニタリング	0	0
		担当者会議	0	0
	社会資源紹介	2	1	
	医療との連携	1	0	
	対人援助技術	2	0	
	制度の説明	0	0	
	個人の悩み	0	0	
	その他	0	0	
小 計		5	2	
支援内容 (延べ件数)	情報収集	3	3	
	内容整理・問題の明確化	4	2	
	助言	3	2	
	同行訪問	12	0	
	会議	1	3	
	経過確認	0	16	
	その他	0	2	
小計		23	28	
合 計		1,954	1,758	

②介護予防支援実施人数（年間実件数）

年度	直営	委託	計
24年度	188	80	268
23年度	191	58	249

③年間給付管理件数

年度	直営	委託	計
24年度	1,621	581	2,202
23年度	1,681	494	2,175

④予防プラン作成件数（実件数）

	年度	直営	委託	計
予防給付プラン作成件数	24年度	53	39	92
	23年度	63	18	81
特定高齢支援計画作成件数	24年度	82	—	82
	23年度	53	—	53
虐待支援計画作成件数	24年度	18	—	18
	23年度	9	—	9
合計		153	39	192

（５）高齢者センターふそき

- ・日々の部署点検と館内清掃により、利用者の安全の確保と清潔で効率的な管理運営を行ったが、マニュアル作成や効果的な研修の実施に至らず次年度の課題として残った。
- ・イベント企画（毎月のカラオケや踊りの大会、映写会、写真や木工品の展示、ピアノ・ハーモニカ演奏会、地元の野菜や花の販売等）がマンネリ化し、来館者の増加が図れなかった。
- ・専門業者に委託する施設・設備の保守点検業務の安全性と適切な実施を重点的にチェックし、必要な協議をすることで改善を図った。特に老朽化が著しい給湯や空調設備については、優先順位を決め修理・修繕を行った。その結果、利用者に不便をかけず安心・安全に利用していただくことができた。
- ・定期的に収支状況を把握し、指定管理委託料の範囲内で予算を執行した。

資料＜利用者の状況＞

①利用者数

単位：人（延べ数）

項目	年度	総数	前年度比
総入館者	24年度	40,100	98.72%
	23年度	40,621	
上記内訳 （専用室利用者）	24年度	19,952	102.75%
	23年度	19,417	
（個人入館者）	24年度	20,148	95.02%
	23年度	21,204	

②行事等の状況

単位：人（延べ数）

月	行事内容	参加人数	
		24年度	23年度
4	カラオケ大会	103	97
5	映写会・カラオケ大会	105	102
6	映写会・カラオケ大会	107	115
7	映写会・踊りカラオケ大会	112	109
8	映写会・カラオケ大会	125	122
9	カラオケ大会	115	113
10	カラオケ大会	102	98
11	踊りカラオケ大会	110	108
12	ふそき祭り（ピアノ・ハーモニカ・映写会）、カラオケ大会	155	147
		123	120
1	神楽舞・カラオケ大会（2回）	203	196
2	舞踊ショー・カラオケ大会（2回）	219	224
3	カラオケ大会	115	112
合計		1,694	1,663

2. ボランティア・実習生の受け入れ状況

（ボランティアの受け入れ）

区 分			24年度	23年度	
長岡市デイサービスセンターふそき	定期	個人ボランティア	195	284	
		団体(グループ)ボランティア	310	364	
	随時	個人ボランティア	2	12	
		団体(グループ)ボランティア	69	91	
		保育園・学校等	118	148	
	合計			694	899

（実習生の受け入れ）

受入事業所	区 分	実人員	延べ日数
長岡市デイサービスセンターふそき	北陸学園 北陸福祉保育専門学院 （小学校教諭普通免許）	2	10
	新潟県社会福祉協議会 （福祉職場体験）	1	1
	長岡市総合支援学校 （高等部現場実習）	1	10
	東北福祉大学 （社会福祉士）	1	3
	長岡こども福祉カレッジ （介護福祉士）	11	22
合計		16名	46日

3. 苦情（意見）内容

デイサービスセンターふそき	内容	申出人：利用者家族 送迎時に急かすような対応をする職員がいる。家族が気をつける様に注意を促したが、理解していない返答をした。
	想定原因と処理	安全を優先し、手すりに早くつかまってもらうように声かけして援助したことが原因と思われる。
	改善策（結果）	他の場面でも同じようなことが考えられるため、現状確認と相手に合わせた対応方法を振り返る機会を設け確認し合った。家族にはその旨を報告し了解をいただいた。

【ケアセンター花の里かつぼ】

1. 事業運営の成果

(1) 特別養護老人ホーム花の里かつぼ

①介護係

- ・個別ケアの提供のため、入居者個々のニーズに応じ外出援助や散歩・余暇活動を実施し、充実した生活をサポートすることができた。
- ・入居者のその人らしい生活環境を整えるため、居室入り口に好みの「居室のれん」を取り付け家庭的な雰囲気を出すことができた。
- ・法人内及び外部研修を通じ介護職員のスキルアップを図ることができた。

②医務係

- ・感染対策の徹底を職員全体で遂行し、入居者の感染症の発症を予防できた。
- ・医師の指示のもと入居者の健康管理を行い、疾病に関する早期発見・早期治療に繋げることができた。
- ・ターミナルケアについて他職種協働のもと、施設内で看取ることができた。
- ・入居者の嚥下機能維持向上及び身体機能維持向上を図るため、口腔体操を24回、体操を36回実施し、入居者が楽しんで参加することができた。
- ・感染対策、救急法、ターミナルケアなど法人内研修を開催し、職員のスキルアップ及び意識向上を図ることができた。

③給食係

- ・毎月1回実施する茶話会時に食事に関する嗜好調査を実施し、入居者の意見や要望を吸い上げ献立に反映させることができた。
- ・食事メニューに関する入居者への情報提供について、毎月献立表を作成し配布することができた。
- ・安全な食事提供の実施のため、衛生管理マニュアルに基づき日常点検記録及び日々目視による点検確認を実施することができた。
- ・他拠点への助勤による業務量が増加したが、調理作業時間等の見直しを図ったことにより円滑に遂行することができた。

資料1 <入居者の状況>

①入退所状況

単位：人（実数）

入所前の状況						
状況	在宅	長期間 ショート	老健等 他施設	病院	法人グループ プホーム	合計
24年度	4	0	3	0	2	9
23年度	5	0	2	0	1	8

退所の状況					
状況	在宅	施設内で死亡 ※1（ ）	病院	他施設	合計
24年度	0	8 (8)	0	0	8
23年度	0	9 (9)	0	0	9

※1（ ）ターミナルケア計画に基づき、施設内で看取りを実施した数

②年度末介護度別数

単位：人（実数）

年度	介護度	要介護度1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5	合計
	24年度		0	0	3	8	18
23年度		2	0	6	6	15	29

③月別利用数

単位：人（延べ数）

年度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率
	24年度	人数	868	895	870	899	897		
	月	10	11	12	1	2	3		
	人数	899	846	881	875	802	897		
23年度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率
	人数	870	891	868	899	893	855	10,515	99.2%
	月	10	11	12	1	2	3		
人数	861	864	889	890	841	894			

④介護度別利用数

単位：人（延べ数）

24年度	介護度	1	2	3	4	5	合計	平均介護度
	人数	171	0	1,643	2,703	5,965	10,482	4.4
23年度	介護度	1	2	3	4	5	合計	平均介護度
	人数	981	0	1,911	2,027	5,596	10,515	4.1

⑤日常生活動作

単位：人（実数）

生活動作尺度	区分	24年度	23年度
移動	独歩	2	2
	介助・介助具使用	2	2
	車椅子	25	25
食事	自立・見守り	15	16
	一部介助	1	9
	全介助	11	2
	経管栄養	2	2

排 泄	トイレ 自立	3	3
	一部介助	6	5
	全介助	2	1
	ポータブルトイレ		
	自立	0	0
	一部介助	0	0
	全介助	1	1
	オムツ	15	17
	フォーレ	2	2
入 浴	一般浴（座浴）	17	18
	特浴	12	11

⑥食事形態（平成25年3月31日現在） 単位：食（実数）

主食		副食	
米飯	8	普通	7
おにぎり	0	刻み	8
粥	12	超刻み	6
ミキサー	2	ミキサー	6
パン	1	ムース	0
パン粥	4	流動食	2
流動食	2		

資料2 <余暇活動等>

①余暇活動の実績

月	余暇活動内容	参加人数
4	喫茶	12
	浅漬け作り	12
	花見ドライブ	5
5	喫茶	19
	ケーキ作り	8
6	喫茶	14
	アオーレ外出	3
	イングリッシュガーデン外出	3
	たこやき作り	10
	菖蒲見学・買い物ツアー	3
7	七夕行事	20
	花火大会	29
	近代美術館博物展鑑賞ツアー	4
	パフェ作り	9
8	喫茶	16
	すいか割り	10
	アイスクリーム作り	10
	パフェ作り	9

9	喫茶	10
	敬老会	29
	すこやかともしび祭り外出	3
10	花壇イベント	1
	おにぎり作り	6
	喫茶	21
	アオーレ長岡習字作品展外出	3
	たこやき作り	10
	弥彦神社・公園外出	2
11	そば打ち	20
	喫茶	16
	山本コミセン文化際	1
	紅葉ドライブ	1
	ホットケーキ作り・カラオケ大会	9
12	喫茶	17
	たこやき作り	8
	クリスマス会	10
1	喫茶	8
	新年会	29
2	喫茶	15
	プリン作り	10
	節分	29
3	喫茶	20
	串団子作り	8
	茶話会	20
合計		502

②クラブ活動の実績

クラブ名	実施回数	参加人数
書道教室	10	33

(2) グループホーム花の里かつぼ

- ・個別ケアの充実を図り、入居者及び家族の意向やケアプランに基づき外出活動や余暇活動を通じて楽しみのある生活を支援することができた。
- ・季節の食材を利用した献立を作成し、入居者とともに楽しみのある食事づくりを行うことができた。
- ・2か月に1回、地域住民の代表・家族・利用者・地域包括支援センター職員が参加する地域運営推進会議を開催し、地域に開かれた施設としての存在をアピールするとともに、地域からの意見も聴取できた。
- ・外出活動や地域行事等積極的に参加し、入居者の生活意欲の向上に努めた。また、法人主催の花壇イベントや笹団子づくりなどには地域住民から参加していただき、交流と親睦を図ることができた。

資料<入居者の状況>

①入退居の状況

単位：人（実数）

入居前の状況					
状況	在宅	長期間 ショート	老健等 他施設	病院	合計
24年度	6	0	0	1	7
23年度	3	0	1	0	4

退居の状況					
状況	在宅	施設内で死亡	病院入院	特養へ入所 ※1（ ）	合計
24年度	0	1	3	4（4）	8
23年度	0	1	0	3（3）	4

※1（ ）内は法人内施設への入居された方の数

②年度末介護度別数

単位：人（実数）

介護度 年度	要支援 2	1	2	3	4	5	合計
24年度	0	1	9	3	2	3	18
23年度	0	2	5	4	6	1	18

③月別利用数

単位：人（延べ数）

24年度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率
	人数	540	557	540	523	518	509		
23年度	月	4	5	6	7	8	9		
	人数	542	529	545	535	499	555	6,492	98.5%
	月	4	5	6	7	8	9		
人数	539	537	540	558	555	532			

③年度介護度別数

24年度	介護度	1	2	3	4	5	合計	平均介護度
	人数	424	2,765	1,365	1,171	667	6,392	2.8
23年度	介護度	1	2	3	4	5	合計	平均介護度
	人数	1,100	1,785	1,542	1,890	175	6,492	2.7

④余暇活動の実績

月	余暇活動内容	参加人数
4	花見ドライブ	18
5	イングリッシュガーデン外出	9
	駅前プランター活動	2
6	笹団子作り	18
7	夏祭り	18
8	花火見学	14

9	長寿を祝う会	18
	すこやかともしび祭り	8
10	アオーレ長岡習字作品展外出	3
11	三・八買物ツアー	3
	弥彦山紅葉見学	6
	山本コミセン文化際	3
12	大掃除・忘年会	18
	クリスマス会	18
2	節分	18
合計		174

2. ボランティア・実習生等の受け入れ状況

(ボランティアの受け入れ)

区 分			24 年度	23 年度
特養花の里 かつぼ	定期	個人ボランティア	10	17
		団体(グループ)ボランティア	57	21
グループホ ーム花の里 かつぼ	随時	個人ボランティア	3	2
		団体(グループ)ボランティア	71	33
		保育園・学校等	83	84
合計			224	157

(実習生の受け入れ)

受入事業所	区 分	実 人 員	延べ日数
特養花の里かつぼ グループホーム 花の里かつぼ	新潟県立長岡聾唖学校 (職場体験)	1	10
	新潟県社会福祉協議会 (職場体験)	1	3
	新潟県認知症実践者他施設実習 (認知症実践者研修)	3	3
	新潟県認知症実践者他施設実習 (認知症実践者研修)	1	1
合 計		6 名	17 日

3. 苦情(意見)内容

グ ル ー プ ホ ー ム 花 の 里 か つ ぼ	内容	申出人：入居者家族 入居者本人の胃がん発見後、病院の医師や家族と当事業所で協議した結果、当グループホームで最後まで対応する結論に至ったにも関わらず、管理者から他施設や病院への転入を勧められたことが非常に遺憾に思い苦情として申し出た。
	想定原因 と処理	管理者の説明不足により誤解を与えてしまったことが原因。 苦情申し出の当日に苦情申出人・管理者・センター長とで話し合いを行い管理者から説明不足により誤解を与えてしまったことを謝罪し納得いただいた。

【シルバーハウジング生活援助員派遣】

- ・随時入居者からの相談を受け、安心して生活できるように援助した。稽古町団地については平成13年開設のため高齢化が進んでおり、介護保険事業者との連携を密に取った。

平成24年4月1日～平成25年3月31日

シルバーハウジング稽古町

緊急呼出し件数	内容(対応)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	誤報	1	1				5	1	2		3	3		2
救急車手配								1			1			2
市役所連絡			1	1		5		3	1		2			13
家族連絡								4			1			5
医療・福祉機関連絡	1				1			3	3	3	3	2		16
その他	1					5	1	2			1		1	11
入退室状況	住替え(施設入所等)													
	入院等	1						2		1				4
	他界													
	その他													

※10月のカウントは、同一者1名が精神疾患による状態不安定によるもの。

シルバーハウジング千歳町

緊急呼出し件数	内容(対応)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	誤報	1	3	1			1	1		1	1	3	2	2
救急車手配														
市役所連絡											1			1
家族連絡														
医療・福祉機関連絡														
その他													1	1
入退室状況	住替え(施設入所等)													
	入院等													
	他界													
	その他													

※誤報＝各月カウントの該当者は、7名(うち4名が常時者)による、通報である。